

# まちネット寄居

私たちから発信しよう 私たちのまちづくり

## さあ

# 手をつなご!

まちネット 寄居通信『さあ 手をつなご!』はみなさんの支援力がエネルギー源

さあ、今年は正念場

# この国の行方は?

本当に戦争ができる国にしてしまうの?

2016年、今年もたくさんの課題を抱えてネットの活動がスタートした。

今年度も町広報紙の議長挨拶は、「開かれた議会」を標榜しているが、杳として進まない。まちネットでは数回にわたり常任委員会の一般傍聴などをもとめる要望書を提出し、2013年には常任委員会の、傍聴席のルール作りなどを検討中と言われながら、その後全く進展がない。本議会のインターネット中継、中継録画配信もそのまま…。町民に開かれた議会とはなんなのだろう。これだけ多忙な生活の中で、平日9時からの議会傍聴は、行きたくともいられない。議会だよりだけでは、とても見えない議会の実態がある。

国政レベルの事だと拒まれた安保関連法案の一般質問や、脱原発の問題も町議会にはそぐわないとして排除されている。これからの社会のあり方を決める重要な問題にもかかわらず、町議会で取り上げることもできないのか。この閉鎖性にただ呆れ



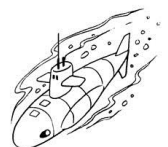
る。

そして、なにより今年一番の正念場となるのが、参議院選挙だ。戦後の平和憲法を変えるための選挙と言える。その自民党改憲草案が様々なところで取りざたされている。前文に書かれた内容で誰もが感じるものが、国民主権と謳いながら、**国家のための憲法**であること。過去の戦争を引き起こした政府権力への反省として、権力を拘束し、主権を国民とした現憲法のもと、私たちは生きてきた。それに何の不具合もなかった。憲法解釈をどんどん歪めて正当化している現状、わたしたちは、本当に

戦争ができる国を望んでいるのか。中国・北朝鮮の脅威をより強く強調し、緊急事態の自衛のためという大義を振りかざしている。歴史上のすべての戦争は自衛から始まり侵略へと変わった。自衛のための拡大解釈がなされるならば、いつの世も戦争がなくなることはない。

今や集団的自衛権の元、直接攻撃されなくとも、米軍が必要とするなら、武力行使ができるようになってしまった。明らかな憲法違反である。現政府は、名実ともに日本が軍隊を持ち、武力で戦える国を目指して、着々とその準備にかかっている。これからの子どもたちのために、今できること。平和憲法を守ること。危機感を持って、野党勢力への結集を働きかけていこう。憲法改悪を阻止する議員を増やすしかない。

まちネット寄居代表 大北秀子



# 「市民が手にする地域分散型エネルギー」

2016 早春フォーラム・参加報告

NPO 法人小川町風土活用センター・NPO 法人おがわ町自然エネルギーファーム共催  
2016. 2. 21

## 《小川町の生ごみ資源化実証事業》 小川町環境保全課長

山岸敏男

小川町では平成11年から小川町環境基本計画に取り組み、平成12年住民の発想から生ごみ資源化の実証実験が始まりました。現在約100世帯の団地住民の生ごみと給食センターの残渣を受け入れ、液肥とメタンガスに分解しています。液肥は肥料登録し、地元農家で利用し効果を試験中です。メタンガスは平成20年より、ホンダ技研との共同研究で家庭用のガスエンジン・コジェネレーションユニットを使って発電を実験中です。実用に向けて改良中ですが売電も熱利用もまだできていません。

\*生ごみを資源とすることにより出来た肥料から作物ができ循環していくのは素晴らしいことですが、取り組みから15年が経過し、いまだに実証中、試験中なのは残念な印象を受けました。

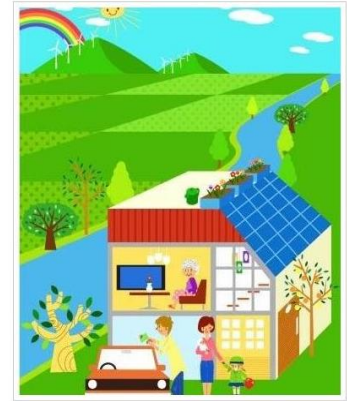
## 《大木町が目指す循環のまちづくり》

福岡県大木町副町長 境 公雄  
大木町は、人口約14500人、縦横に掘割が巡る農業の町です。市町村の合併を選択せず、「自立」「持続可能」をキーワードに住民協働のまちづくりを推進してきました。小川町の取り組みなどを参考に、平成18年「おおき循環センターくるるん」を設立しました。これは、全住民の生ごみ・し尿・浄化槽汚泥をバイオマス資源化する施設です。特

徴的なのはこの施設を町の中心部に建てたことで、完全嫌気発酵のため臭いが漏れず、ふつつ嫌がられる処理施設がまちのシンボルになりました。平成22年には直売所・レストランを隣接し、環境・農業・食をつなぐまちづくりの拠点として住民の利用はもちろん、国内外から毎年3000~4000人の見学者が訪れています。

この循環事業により  
・ゴミが半減（重量） ゴミ処理費の削減 CO<sub>2</sub>排出量削減  
・水処理の経費削減  
・出来たメタンガスをエネルギー利用するためプラントのランニングコスト削減  
・液肥 5000~6000トン/年 主に米の元肥として農地で使用  
・メタンガス発電 発電効率32% 熱回収率52% 発電量700~800kw/日  
などの効果があり、住民の理解や協力が得られています。

\*大木町は日本で二番目に「ゼロ・ウェイスト宣言」をした町だそうです。大木町もつたいない宣言の最後に「大木町は、地球上の小さな小さな町ではありますが、地球の一員としての志を持ち、同じ志を持つ世界中の人々と手をつなぎ、持続可能なまちづくりを進めます。」と宣言されています。何とも羨ましいまちづくりですが、羨ましがっているばかりでは仕方がないので大木町を私と置き換え、地球人の一人として持続可能な生き方をしていきたいと思いました。



## 《電力小売自由化と再生可能エネルギー》

市民電力連絡会会長 竹村英明  
市民エネルギーとっとり代表

手塚智子

足元から地球温暖化を考える市民ネット 山崎求博

2014年秋、九州電力から始まる再生可能エネルギー（以下再エネ）接続拒否で、現在7電力会社（北海道・東北・北陸・中国・四国・九州・沖縄）が「接続可能量」を設定しています。これは事実上の無保証、無制限の発電抑制で再エネの伸びはストップせざるを得なくなっています。2014年度の水力発電を除いた日本の再エネは、3.2%です。ちなみにドイツ23.0%、スペイン25.9%、イギリス17.6%、アメリカでさえ6.9%になっています。ドイツの再生可能エネルギー法では、「送電系統運用者は、再エネを優先的に接続し、送電し、買い取り補償をする義務を負う」「系統運用者は、遅滞なく系統を最適化・増強化する義務を負い、必要な費用は拡張を必要とする配電事業者が負担する」という条項があり、再エネの普及が保障されています。

鳥取県の「市民エネルギーとっとり」や江戸川区の「えど・そらプロジェクト」など多くの

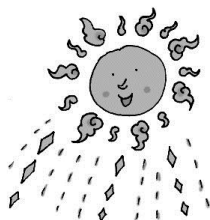
団体が再エネ発電に取り組み、エネルギーの地産地消を目指して活動しています。4月から電力小売り自由化が始まりますが市民会社は体制が整わず、すぐに売り出せない会社もある。10月くらいには軌道に乗るのではないか。太陽光発電をしている人は、売電会社を変えても余剰電気を東電に売り続けることは可能です。どこから電気を買うか選べるだけでなく、どこに電気を売るかも選べるわけですが、実際は小さい会社では買い取りは難しそうです。

ドイツでは、電力会社は電気の成分・環境影響を明示する義務があるので、消費者はどのような電源で作られた電気なのか知ることができ選ぶことができます。日本では明示義務がないのですが、パワーシフト等で検索するとどのような会社があり、どのような電源構成で電気が作られているか知ることができます。

\*私も再エネの電気を買いたいと思っていますが、全体の3.2%では需要を満たすのは難しいことだろうと思いました。でも圧倒的に多くの人々が希望したら国も考え直すのではと微かな希望を抱いています。

\*以降は報告者の感想を述べました。

報告：白井操子



## ひと言



### イノシシと民主主義・続編

前号でお伝えしたイノシシ問題は、12月議会で大澤ひろし議員（共産党）が一般質問で取り上げてくれて、副町長から「抜本的にしっかりと対応する」という言質を取ることができました。たぶん、男衾区長会が区長連名の要望書（私たちの要望書に準拠したもの）を直接町長に手渡す機会をとらえたことが、大きく寄与したのだと思います。

1月には、大澤議員が現地視察に来て、地元住民や猟友会の人のお話を聞き、3月議会でも質問をすると約束してくれました。3月議会では、神田議員も一般質問でイノシシ問題を取り上げていて、大澤議員も「抜本的な対策」の中身に迫りましたが、12月議会でも要望していた「協議会のようなもの」はやるつもりはないようでした。逆に、猟友会には充分予算を使っている、という印象を与える財務課長の答弁までありました。

以前から活動している「寄居町耕す人の会」では、2月下旬に今年最初の里山の草刈りを行いました。3月に入ってから、山から出たイノシシが畑や民家の庭を縦断することがたびたび起こっています。2回目の3月下旬の草刈りには、こ

## 言わせて

れまでで最高の26名の参加で、ずいぶん山の深くまで入り、「寝床」のまわりを刈払ったりもしました。でも、イノシシの出現は続いています。町は、荒廃した里山や耕作放棄地をきれいにすることが大事だと、持ち主の管理責任を強調するのですが、きれいにしても、その奥からイノシシはやってくるのです。だからこそ、地域住民と猟友会と行政が知恵を出し合って、対策を練る機会が必要なのですが、小手先の電柵ばかり推奨するのです。もし一歩進んで、草刈りの際のお茶代とか燃料代を出したとしても、50代～60代が主体の今の会員が、いつまで、急斜面までふくめた刈払いができるのでしょうか。私たちの声は、どうしたら、町行政に届くのでしょうか。

さて、この間議会の動きを追っていましたが、議会日程のネット公開が遅いので、知りたい案件があっても、予定が付けられないし、人も誘えません。平日に傍聴に行ける人は本当に少数だし、あとで出る議会だよりは詳細は掲載されません。私も「耕す会」の事務局の責務と、大澤議員の質疑だけに絞って、何とか傍聴に行きましたが、ざっくりメモするのがやっとです。昨年からは始まった会議録のネット公開も、4か月近くたたないと出てきません。まちネットでは、以前からインターネット配信・録画公開を町に要望していますが、動画ではなく音声配信の方が実現しやすいのでは、と、数年前から実施して

# 時事川柳

- 国会に八紘一宇の亡霊が
- 沖縄に「希望の同盟」どう説明
- いずれまた大和・武蔵も自衛艦
- 箱ものに住民の意思が入り始め
- マイナンバーいずれは利用徴兵に

「ひとり蜂」

東京新聞掲載から(作者から転載承諾済)

## 2016年度 家庭菜園講座開催

- 4月17日(日) 毎月第3日曜日 全12回  
(5月からのスタートもできます)
- 時間；午前9時30分～11時30分
- 場所；今市地区(男衾)農地
- 費用；年間登録料1,000円(1家族)初回参加時納入種・苗・資材代などを含む  
(ネット会員は500円)  
当日会費…500円(欠席回は不要)
- その他；農具不要。毎回收穫野菜の持ち帰りあり  
問合せ・申込み 大北  
080-5933-7154  
FAX(048-582-4073)



## 寄居町に引っ越して

昨年都心のマンションを売り払い、寄居町に木の家を建て引っ越してきました。今までは駅の隣に建物があつたため、雨にぬれずにJRと地下鉄4本に乗ることができました。エレベーターで下に降りると、スーパーマーケット、ATM、本屋、薬屋、レストラン街などがあり、この上なく便利なところですが、でも夏涼しい風が通り抜け、冬暖かな日が差し込むということはありませんでした。便利さを捨てることにより、今は心と体が喜んでいると実感しています。

私は、地球温暖化防止や脱原発のためにもゴミ減量や節電を心掛けた生活をしています。家を建てるにあたってマンションでは出来なかったソーラーパネルをつけることができました。生ごみは土に埋めることができます。私の節電は、なるべく電気を熱にして使わないことです。わが家には電気炊飯器、電気ポット、ヘアードライヤーはありません。便座も温水や暖房はありません。カバーをすれば冬でも冷たくないし、24時間温水を用意し便座を温かく保つということには抵抗があります。家の暖房は薪ストーブです。ちなみにわが家の3月分の電気使用料金は2796円。不便さを感じることはないですし、何かを我慢している感じもありません。1日1日自然の変化を感じながら快適に過ごしています。

白井操子

いるという、鳩山町議会事務局に問い合わせしてみました。低予算だし、傍聴に比べて格段にアクセスがあるということでした。スマホでも聴けるそうです。

寄居町議会では、議会改革を掲げて、議会基本条例の作成に着手したそうですし、議長も「開かれた議会」を呼びかけているようですから、この音声配信について、要望を出してみたいと思っています。あと、議員の一般質問項目のファイルは、アーカイブしてもらいたいです。現在では、議会が終わるとHPから消えてしまっていますが、アーカイブがあれば、会議録が公開されたときに、さかのぼって、あ、この人のこの質問項目の質疑について詳しく知りたいなあ、というように利用できます。国→県→町と、上から下りてくる事案の消化に終わりがちな議会の中で、私たちの代わりに、チェックしてくれている頑張ってる議員さんを見つけられるはずですよ。

伊藤泰子



# 冬の家庭菜園講座



今年も燻炭づくり



マルチの下から  
ジャガイモの芽

新しい芽がニョッキリ



さっそうとトラクター運転



コウサイタイの花



少し早い種イモ植え

## 2016年度 役員紹介



昨年7月28日、とっても暑い日に寄居町の赤浜に引っ越してきました。1人住まいの気楽な家なので遊びに来てください。自然系人間です。

白井操子

10年続いた「今しか聞けない戦争体験のお話し」の「今」は、過去になってしまい…今年度は「平和であるという事」を軸に、まずは近・現代を知ってみよう！と企画中です。」

矢島京子

今年も気持ちをリセットして、山盛り課題に取り組みたいです。まずは仲間作りですね。

大北秀子

今年度は、発送のお手伝い程度しかできませんがよろしくお願ひします。

篠原由実子

イノシシのことだけ考えているわけではありません。参議院選のことにも、関心あります。「埼玉から2人の野党議員を」を合言葉に、できることを探しています。

伊藤泰子

# 生活クラブ運動グループってなに？

まちネット寄居の議案書には、毎年、埼玉県市民ネットワークと連携していくという1文が入っています。また、まちネットの年会費1,500円のうち500円は埼玉県市民ネットワークへ会費として納めています。つまりまちネット寄居会員は、そのまま埼玉県市民ネットワーク会員として登録しています。また、先日、生活クラブ生協熊谷ブロックのブロック大会に、来賓として招かれました。会員の皆さんの中には、どうして？と素朴な疑問をお持ちの方が居られると思います。まちネット寄居のスタート時には、この関連に関しては、通信や、会合時にはこまめに語られていましたが、いつの間にか、その前提となる基本的なことが忘れられてきました。それは、まちネットが自立した団体としての歩みをしっかり？取り組んできた証ととらえることもできません。いまさらの感もあるかと思いますが、原点に戻って、基本的な関係を再度確認しておきたいと思います。それは、生活クラブ運動を担う仲間としての、重要な認識と考えます。

2003年、生活クラブ運動グループ宣言が出されました。

「私たちは、大勢の仲間と力を合わせ、一人では諦めてしまうような様々な社会の課題を解決する運動を進めます。五者(生活クラブ・ネット・ワーカーズ・おとなの学校・CCS)はそれぞれの特性を生かし、知恵と力を合わせることで、市民一人一人が生き活きと暮らし続けられる地域を作ります。」

世田谷区で1965年に始まった、生活クラブ生協の共同購入は買う力、買わない力を結集し、生産か

ら消費、廃棄に至るまで、責任を持って関わる生協として、確実に時代を作ってきました。そして私たちネットワーク運動(代理人運動)は、その活動の中から生まれ、市民の政治参加を進め自治する市民を増やしていくことを目標に、まさに台所からリアリティーのある政策立案、提案型で政治の場に挑戦してきました。生活クラブで継続して取り組んで来た、食の安全、ごみ問題、水、環境保全、子育て、高齢社会への福祉問題など、私たちの暮らしに直結している課題でした。ほんのわずかな人たちから出発した代理人運動は、全国へ広がり、私たちの生活の現場である地方自治体へ150名以上もの議員を送り出す広がりとなりました。市民、町民の代表として選び、1票を投じて後はお任せからの反省、その代表による間接民主制の行き詰まりからのもう一つの機能として、政治を私たち生活者が、市民としてよりよく生きていくための道具と捉え、使いこなして行こう。ある意味、政治、議員の共同購入ともいえます。生活クラブは、食に代表される個人で抱えてきた問題を、協同することで解決する共同購入運動を実践し、社会を変えてきました。

私たちまちネット寄居も14年前、そんな活動の延長線から税金を納めるだけではなく、もっと積極的に政治の場に私たちの声を届けていこう。合併問題時の住民投票条例の請求も簡単に寄居町議会では退けられ、一般町民は、余分なことはしなくて良いといった風潮のある議会へ、モノ申して行こう。誰のための議会なのか、議員村のルールが先行する議会でのいいのかといったことを強く感じなが

ら、できるだけ提案型でといった前向きな思いで活動を続けてきました。そんな地域のネットが集まって、埼玉県で市民ネットワークを立ち上げました。埼玉県市民ネットワークは、決して上部団体ではなく、地域ネットの課題を共有し、自治体を超えて、解決に向けて、様々なネットワークを使って取り組んで行こうとしています。全体的には政治に後ろ向きな社会にあって、私たちは少数派でもあると思います。そんな私たちの思いを共有し、ともに運動を進める仲間として、生活クラブ、ワーカーズなどは貴重な存在でもあります。もちろんネット会員は生活クラブ組合員でなければならないなんてことはありません。世の中には、様々な考え方の人たちがいます。その中で、共鳴するなかまの共通項はお任せしない、自治する市民であり、「民主主義の目指す社会は福祉社会」の理念でもあります。今後、どれだけ市民の代理人として普遍化していけるのか、まだまだ運動はこれからです。

おかしいと思うこと、黙っていないで、声に出し勇気を持って、自分が議員として手を挙げられなくても、それに代わる、仲間を擁立していきませんか？そして、しっかりと自分の思いを声を届けていきましょう。おおぜいの私を集めての運動です。 大北秀子

埼玉県市民ネットワークは、全国市民政治ネットワークと連動しながら、夏の参議院選挙の比例区で大河原雅子さんを支援しています。大河原さんは、東京生活者ネットワーク出身で民主党から立候補し、参議院1期務めました。今回は、民進党比例区で挑戦しますが、全国ネットワークと政策協定を結んでいます。憲法改悪を許さない、国家権力の暴走を止め、命と平和を守るため挑戦します。皆さんの力をかしてください。